

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議題	学研高山地区第2工区
日時	令和7年10月6日(月) 13:00 ~ 15:00
場所	特別会議室ほか(市政顧問はオンライン参加)
出席者	市政顧問 市長、副市長 都市整備部長、同部次長、学研推進課長、同課課長補佐 CDO、経営企画部長、企画政策課長、企画政策課企画官
主な意見 (概要)	<p>○けいはんな学研都市が目指す、今後の10年間の都市の方向性を定める「次期ステージプラン」の策定に向けてこれまでの取組状況を説明し、同プランに反映するべき内容について意見を伺った。</p> <p>○市政顧問の主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・これから整備を進めていく第2工区の未来において、住民やそこで働く人の観点が重要。職住近接の環境がシビックプライドや市民の幸福感につながる。市民や周辺地域の住民の豊かさと幸福感を追求する視点から第2工区のまちづくりを行っていくという思いを生駒市から伝えたうえで「次期ステージプラン」に対する提案を行えば、プラン策定に関わる他機関のメンバーにも理解が得られる。・生駒市民にとっての第2工区という観点と同時に、日本国内で育て切れていない技術や産業を第2工区で実際に研究し生産に繋げていき、世界の人たちが注目する場所にしていくという方向性は十分考えられる。・人やモノの移動に関して、技術の進化や大量輸送の必要性についても議論が必要。地域の生産活動やインフラ整備に影響を与えるため、国の研究開発や国内外の新しいスマートシティの取り組みを参考にし、未来への投資を考えることが大切。・地権者や市民の意見も大切だが、未来学者や他国の事例から学び、多様な視点を尊重してまちづくりを進めることも必要。